



清新一中学校だより

出会いの泉

令和5年度 第8号 令和6年2月17日発行

教育目標

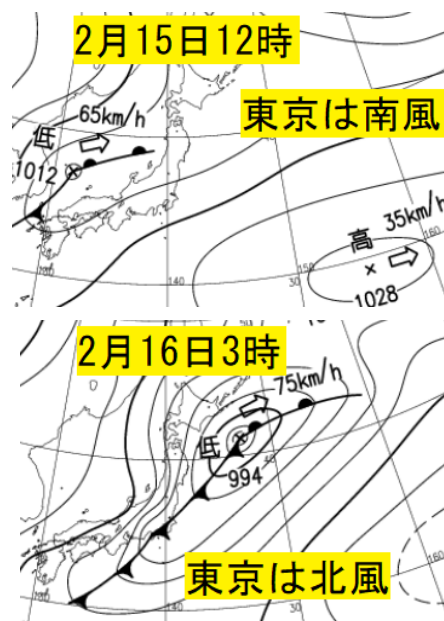
- 自ら学び 進んで働く生徒
- 心身ともに健康な生徒
- 自他を尊重して
協調性を発揮する生徒
- 社会に対する責任を自覚して
実践する生徒

春一番

はるいちばん

2月にしては暖かい日が続き、梅のさわやかな香りが漂っています。一昨日、昨年より14日も早く15日に気象庁から「関東地方で春一番が吹きました」と発表されました。「春一番」とは冬から春に変わる、つまり2月4日頃の立春から3月21日頃の春分のあいだに初めて吹く、南よりで暖かい風力5（毎秒8メートル）以上の強風です。15日には学校の自転車置き場ではたくさんの自転車が転倒して、16日朝には中門の防球ネットが外れてめくれ上がってしまいました。中2の理科で学ぶ温帯低気圧の移動に伴う前線の通過・三寒四温等の知識と、実際に体験した事実が繋がると、生きて働く学力が身につきます。

ところで春一番という言葉は、東京に住んでいると突風などに注意しましょうという意味で、毎年話題になりますが、北海道や東北、沖縄では気象庁からこのような発表はありません。



学校公開・学芸発表会（展示の部）

清新一中学校の生活で、学習意欲は向上しているでしょうか。実際にどのような学力が身についているでしょうか。これは直接生徒の様子を見ていただくことが近道です。

学力の評価指標は様々ですが、例えば「全国学力・学習状況調査の平均正答率の状況」は本校のホームページにも掲載しているとおり、令和5年度は全国平均より国語+10.2点、数学+13点、英語+17.4点、英語（話すこと）+18.6点でした。おおむねよく出来ていると思います。

但しこれは、今年度の3年生をある時点で調査したものであって、問題も違いますし、調査を受けた生徒も違う前年度と比較してもあまり意味はありません。清新一中学校で過ごす誰でもよい成績になるということでもありませんし、先日お問い合わせがありましたが、多様な進路先がある中で、日比谷高校進学者数を指標にして学校選択をするのも、いかがなものかと疑問ではあります。

そこで、是非とも普段の生徒の様子をご覧いただきたいと考え、今週は都立高校入試に向けた追い込みの時期である3年生も含めて、学校公開を行いました。浮き足立つことなく、落ち着いて中学校生活を送っている様子をご覧いただけたと思います。

空いている席がありましたが、例えば昨日は全校で季節性インフルエンザ18名・新型コロナウイルス感染症2名など体調を崩している生徒もいます。毎朝状況確認をしているのですが、今のところ特定のクラスや部活動で感染が広がっている様子はなく、新規・復帰など落ち着いた状況で推移しています。もし「学級閉鎖」をする事になると、当該クラスの生徒はたとえ健康でも買い物や習い事、塾通いなどについても行動制限をかける事になりますので、そうならないよう、体調の悪い生徒



は躊躇することなく欠席して様子を見ることを各ご家庭で徹底していただいています。

学芸発表会「展示の部」の多くは、皆で作り上げる体験を目的とした「舞台の部」とは違い、普段の作品をそのまま展示しています。相互に鑑賞することで感性を高めて欲しいと考えています。教員の手が入っていない生徒個々の成果をダイレクトに受け止めていただけましたでしょうか。

3年生受験・受検の日程など



特別支援学級では、11月から特別支援学校の適性検査等が始まり、12月早々には合格発表がありました。1月17日(水)・18日(木)には千葉県内私立高校の一般受験があり、本校生徒も多く受験しています。1月22日(日)・23日(月)東京都内にある私立高校の推薦受験、1月26日(金)・27日(土)は東京都立高校の推薦受検、2月10日(土)・11日(日)・12日(月)建国記念日の振替休日には、都内私立高等学校の一般受験がありました。この後は、2月21日(水)東京都立高校の一般受検(一次)3月9日(土)東京都立高校の一般受検(二次)と続き、受検資格などがあれば、4月2日(火)都立4月募集前期、4月4日(木)都立4月募集後期…となります。

義務教育を終えた後の進路選択・進路決定は、生徒・保護者が主体的に行うものです。都立入試に必要な英語のスピーキングテストも中学校の教員は関わらないことが基本です。

中学校の進路指導は生き方指導であり、進学指導ではないことをふまえ、中学校の先生に依存しすぎることなく、それでも高校などから求められる多くの公文書を発行するのは中学校ですから、希望や必要な情報を共有するなどして中学校と保護者はよい関係を築いて進めています。おかげさまで保護者によるインターネット出願・インターネットで行われる合格発表・クレジットカードなどでの諸費用の払い込みなど、おおむね順調に行われています。

このような日程から、中学2年生は2月13日(火)または2月22日(木)からは「高校受験生」と呼ばれているようです。2年生は「3年生になったら頑張る。」「3年生の夏に部活動を引退したら頑張る。」という事ではなく、もう具体的に進路決定をする時期になったと考えないと良いでしょう。

標準服などのリサイクル …正しくは Reuse (リユース) なのでは？

先日、教育委員会とは別の部署から学校で制服をリサイクルしているか、その回答を公表して良いかと聞かれました。どのように書かれるかわかりませんが、正確にご理解いただきたく思います。

まず、学校としては、校則で「生徒の標準服は開校に合わせて公募して定めたものである。地域のシンボルでもあるから、意匠を尊重すること。」として標準服の着用を求めています。しかし宗教上の理由などで、標準服とは違うものを着用する生徒がいないわけではありません。私立学校のように絶対的な「制服」は無いので、厳密に言うとも開校以来本校に「制服」はありません。

次に、使える物であれば再利用するという考え方自体は大切なのですが、半永久的に使用できる金属製の品物などとは違い、長期間着用していた傷みも愛着もある個人の財産・持ち物なので、学校が回収する同調圧力をかけない配慮が必要です。また、傷みの激しいものを着用する生徒が増えたり、再利用が多くなりすぎて新規購入者が減ったりすると経済の原理に則って販売価格が上がりますので一定の配慮も必要です。このようなことから、学校としては標準服のリサイクルは行いません。

但し阿吽の呼吸と言いますか、現在本校 PTA では学校関連物品のリサイクルを推奨しています。標準服・体育着・かばん・柔道着・上履きなどを対象としているようです。本校ホームページの PTA タブから清新第一中学校 PTA ホームページに入り、その他→PTA のしおり等→ダウンロードと進み、13 ページをご覧ください。諸般の事情から今は PTA 室内に入れてありますので、必要なときには教職員にお声がけいただければ PTA 室の鍵を開けてごらんいただくことができます。

なお、リサイクル・リユースではなく校外生活での個人情報保護の観点から令和6年度以降、体育着・ジャージの名前の刺繍は無くても(あっても)良いことにします。